

各 位

会 社 名 株式会社ジュピターテレコム  
 代表者名 代表取締役社長 森 泉 知行  
 (JASDAQ・コード 4 8 1 7)

2007年6月中間期(連結・個別)前年実績との差異についてのお知らせ

2007年6月中間期(2007年1月1日~2007年6月30日)の実績見込み(連結・個別)は、前年同期の実績値に対して下記の通りの差異となりますのでお知らせ致します。  
 なお、2007年通期の連結業績予想については変更ございません。

記

1. 前年同期の実績値との差異

連結 [米国会計基準]

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	税引前 中間純利益	中間純利益
2006年6月中間期 実績(A)	103,310	15,602	13,504	8,118
2007年6月中間期 実績(B)	128,116	20,293	17,603	11,538
増減額(B-A)	24,806	4,691	4,099	3,420
増減率	24.0%	30.1%	30.4%	42.1%

個別 [日本会計基準]

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
2006年6月中間期 実績(A)	47,255	508	2,334	2,210
2007年6月中間期 実績(B)	49,566	2,866	3,097	3,029
増減額(B-A)	2,311	2,358	763	819
増減率	4.9%	464.4%	32.7%	37.0%

## 2. 差異の内容

### 連結について

前年度期中の子会社の取得による連結範囲の拡大及び既存サービスエリアにおける加入世帯数の増加により、当中間期末の当社サービスの総加入世帯数が前年同期末から 24% 増加いたしました。その結果、営業収益は前年同期比 24% の増加となります。

営業利益、税引前中間純利益、中間純利益については上記理由に加え、費用の削減に努めたことにより、それぞれ前年同期比 30.1%、30.4%、42.1% の増加となります。

### 個別について

売上高については、総加入世帯数の増加に伴い番組販売等の取引が増加したものの、運営会社向けの資材販売が減少したため前年同期比で 4.9% の増加となります。

営業利益については、カスタマーセンター、マーケティング販促費等の経費節減及び広告受注の増加により大幅な増益となりますが、経常利益、中間純利益については、受取配当金の減少及び支払い利息の増加等により 30% 台の増加にとどまります。

以 上